

# I 穀物

## 1 2008/09年度の国際的な穀物需給の概要

### ○2008/09年度の穀物需給（予測）のポイント

2008/09年度の穀物需給は、小麦が価格高騰を背景に世界的な増産となる中、米国のとうもろこしの作付減少に伴う飼料用需要の一部を代替し、穀物全体としては、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

また、期末在庫量が積み上げられることから、穀物全体の需給は若干緩和するものの、低水準の期末在庫率が継続すると見込まれる。

#### 【生産量】

世界の穀物全体の生産量は、小麦を中心とした増加から前年度より85.6百万トン増加（4.0%）し、2203.7百万トンとなる見込みである。

品目別には、とうもろこしについては、EU、中国等で良好な天候等を反映した増産から生産量が増加しているものの、米国において連作障害への懸念などで作付けが縮小していることなどから生産量が減少、小麦については、価格高騰による世界的な増産意欲の高まりなどで作付が拡大し、これまでの天候も比較的好ましい状況で推移したことなどから生産量が増加すると見込まれている。

#### 【消費量】

世界の穀物全体の消費量は、堅調な食用、飼料用の需要の増加に加え、とうもろこしのバイオ燃料需要の拡大などから、前年度より71.1百万トン増加（3.4%）し、2182.1百万トンとなる見込みである。

また、飼料に用いられる穀物については、品目間での代替が可能であり、品目間の相対価格の変動に伴い飼料用需要の移動が見られる。昨年度は、小麦価格の高騰によりとうもろこし、ソルガムへの移動がみられたが、本年度はとうもろこしの価格高騰による小麦等への移動が見込まれている。

#### 【貿易量】

世界の穀物全体の貿易量は、前年度より6.7百万トン減少（▲2.5%）し、261.9百万トンとなる見込みである。

品目別には、小麦については、輸出国であるEU、オーストラリア等の生産回復や飼料用需要の伸びなどから貿易量の増加が見込まれている。一方、とうもろこしについては、昨年度急増したEUの輸入の減少や飼料用需要の減少を背景として貿易量の減少が見込まれている。

#### 【期末在庫量】

世界の穀物全体の期末在庫量は、生産量が消費量を上回ると見込まれていることから前年度より22.9百万トン増加（6.6%）し、370.4百万トンとなる見込みである。また、穀物全体の期末在庫率は、期末在庫量が積み増しされ、17.0%と0.5ポイント上昇するものの、引き続き低水準となる見込みである。

品目別には、小麦や米については、生産量の増加等から期末在庫量を積み増しし、期末在庫率も2割程度となり、需給の引き締まりはある程度緩和すると見込まれているものの、とうもろこしは消費量の増加に伴い、昨年度に積み上げた期末在庫を超えた取り崩しが必要と見られており、在庫率が低下し、需給の引き締まりを強めると見込まれている。

表－1 世界の穀物需給

(単位:百万トン)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
<b>生産量</b>	<b>2005.8</b>	<b>2118.1</b>	<b>2203.7</b>	<b>8.7</b>	<b>4.0</b>
穀物計					
小麦	596.3	610.9	680.2	3.9	11.3
粗粒穀物	989.1	1,077.0	1,090.2	3.5	1.2
(とうもろこし)	712.4	791.0	781.0	▲2.0	▲1.3
(大麦)	137.4	133.2	153.4	3.5	15.1
(ソルガム)	57.0	63.2	63.3	1.2	0.1
米	420.4	430.2	433.2	1.2	0.7
<b>消費量</b>	<b>2054.1</b>	<b>2111.0</b>	<b>2182.1</b>	<b>8.0</b>	<b>3.4</b>
穀物計					
小麦	616.9	618.1	655.6	0.7	6.1
粗粒穀物	1,016.0	1,065.4	1,096.1	5.8	2.9
(とうもろこし)	728.5	776.8	799.1	2.6	2.9
(大麦)	145.1	136.3	145.0	2.8	6.4
(ソルガム)	57.2	63.3	62.3	0.8	▲1.6
米	421.1	427.5	430.4	1.5	0.7
<b>うち、飼料用</b>	<b>741.7</b>	<b>752.9</b>	<b>778.2</b>	<b>6.2</b>	<b>3.4</b>
穀物計					
小麦	106.3	95.0	123.7	▲0.8	30.3
粗粒穀物	635.5	658.0	654.5	7.0	▲0.5
(とうもろこし)	477.8	499.9	491.1	4.8	▲1.8
(大麦)	100.9	91.7	99.0	2.0	7.9
(ソルガム)	21.9	29.0	27.1	0.7	▲6.4
米	...	...	...	...	...
<b>貿易量</b>	<b>259.9</b>	<b>268.5</b>	<b>261.9</b>	<b>▲2.2</b>	<b>▲2.5</b>
穀物計					
小麦	111.2	114.9	123.2	0.3	7.3
粗粒穀物	117.4	123.3	110.4	▲2.6	▲10.5
(とうもろこし)	93.8	95.8	82.6	▲3.5	▲13.8
(大麦)	15.2	15.5	20.0	0.9	29.0
(ソルガム)	5.5	9.2	5.0	▲0.0	▲46.0
米	31.3	30.4	28.3	0.1	▲6.7
<b>期末在庫量</b>	<b>340.4</b>	<b>347.5</b>	<b>370.4</b>	<b>3.1</b>	<b>6.6</b>
穀物計					
小麦	127.0	119.8	144.4	4.5	20.5
粗粒穀物	138.4	150.1	145.4	▲1.6	▲3.1
(とうもろこし)	108.7	122.9	106.1	▲3.9	▲13.7
(大麦)	20.7	17.7	26.0	0.6	47.5
(ソルガム)	4.3	4.2	5.2	0.5	24.0
米	75.0	77.7	80.5	0.2	3.7
<b>期末在庫率</b>	<b>16.6%</b>	<b>16.5%</b>	<b>17.0%</b>	<b>0.1</b>	<b>0.5</b>
穀物計					
小麦	20.6%	19.4%	22.0%	0.7	2.6
粗粒穀物	13.6%	14.1%	13.3%	▲0.2	▲0.8
(とうもろこし)	14.9%	15.8%	13.3%	▲0.5	▲2.5
(大麦)	14.3%	13.0%	18.0%	0.1	5.0
(ソルガム)	7.5%	6.6%	8.3%	0.6	1.7
米	17.8%	18.2%	18.7%	▲0.0	0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS &D」

注：期末在庫率の「前月予測からの変更」と「対前年度増減率」は、前月予測及び前年度とのポイント差である。

【参考】2008/09年度穀物需給予測の主な改訂（主要品目の前月予測と今月予測の差）

前月の予測からの改訂は、生産量はとうもろこしがブラジル、米国で下方修正されたものの、小麦がカナダ、米国、ロシア、ウクライナ、大麦がEU、ロシア、ソルガムが米国などで上方修正され、穀物全体で8.7百万トン上方修正されている。また、消費量も各穀物とも上方修正され、穀物全体で8.0百万トン上方修正されている。消費量を上回る生産量の上方修正に加え期首在庫も上方修正されたことから、期末在庫量も3.1百万トン上方修正され、前月に引き続き需給は緩和傾向に修正された。

○ 小麦

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	3.9	0.7	▲ 0.8	0.3	...	4.5
米国	1.0	0.3	0.3	-	-	0.7
カナダ	1.9	0.2	0.2	1.0	-	0.7
オーストラリア	▲ 0.5	-	-	-	-	▲ 0.5
EU-27	▲ 0.0	▲ 1.0	▲ 2.0	-	-	1.0
中国	-	-	-	-	-	-
インド	-	-	-	-	-	-
ロシア	1.0	1.5	1.0	-	-	▲ 0.6
アルゼンチン	▲ 0.5	-	-	▲ 0.5	-	▲ 0.0
ウクライナ	1.0	-	-	-	-	1.0

○ とうもろこし

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	▲ 2.0	2.6	4.8	▲ 4.8	...	▲ 3.9
米国	▲ 1.0	▲ 0.3	2.5	▲ 1.3	0.0	1.8
中国	-	-	-	-	-	-
アルゼンチン	-	1.8	1.8	▲ 2.0	-	▲ 0.3
ブラジル	▲ 2.0	2.5	2.0	-	-	▲ 5.7
EU-27	1.0	-	-	-	▲ 0.5	0.6

資料: USDA

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」

注: 期末在庫量の変更については、2007/08年度の需給データの改訂により、2008/09年度の期首在庫量が修正されたことに伴う場合もある。

○ 大麦

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	3.5	2.8	2.0	0.9	...	0.6
オーストラリア	-	-	-	-	-	-
カナダ	0.3	1.0	1.0	-	-	▲ 0.7
米国	0.5	0.7	0.7	-	-	▲ 0.2
EU-27	1.6	-	-	1.0	0.1	0.7
ウクライナ	-	-	-	▲ 1.0	-	▲ 0.0
ロシア	1.0	0.5	0.2	-	-	0.7

○ ソルガム

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	1.2	0.8	0.7	▲ 0.0	...	0.5
米国	1.2	0.9	0.9	0.3	-	0.1
アルゼンチン	-	-	-	▲ 0.3	-	0.3
オーストラリア	-	-	-	-	-	-
中国	-	-	-	-	-	-
インド	-	-	-	-	-	-

○ 米

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	1.2	1.5	...	0.1	...	0.2
中国	-	-	...	-	-	-
インド	-	-	...	-	-	-
インドネシア	-	-	...	-	-	-
タイ	-	-	...	-	-	-
ベトナム	-	-	...	-	-	-
フィリピン	-	-	...	-	-	-